

中村雅一後援会ニュース

後援会事務所 あきる野市上代継367番地 ☎ 042-558-0341
E-mail:masaichi.n@nifty.com <http://homepag2.nifty.com/nakamura-masaichi/>

新年明けまして おめでとうございます

昨年中は、私および後援会に格別のご支援、ご協力いただき厚く御礼申し上げます。皆様には、新たな希望と期待をもって新年を迎えられましたことをお慶び申し上げますとともに、ご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げます。

新年早々で些かためらわれますが、昨今、心から喜べる明るい話題が少ない世の中になってきたとの憂慮を禁じ得ません。

子どもに対する虐待やいじめ、生命保険と損害保険会社の保険金不払いなど企業の不祥事、行政ではタウンミーティングにおける「やらせ・さくら」、中央・地方を問わない官製談合と汚職が後を絶ちません。そこに見られる倫理観の欠如には目に余るものがあります。

また、経済もバブル崩壊後の超長期不況を脱却して景気が回復したといわれますが、ほとんどの国民にその実感はありません。経済格差が拡大し、富裕層と貧困層とに二極化する傾向がますます強まり、不安が広がっているからです。

日本の社会は、少し「おかしい」方向に向かっているのではないのでしょうか。そうであるなら、軌道を修正しなければなりません。

今年は、統一自治体選挙と参議院議員選挙の年です。あきる野市でも市長選挙、東京都では知事選挙が行われます。市政、都政、国政の違いはありますが、政治は福祉・医療・年金・教育など私たちの毎日の生活に密接に関係しています。私たちの暮らしや社会を良くするために、この機会を大切にしたいと思います。それぞれ考え方や価値観に違いはあっても、日本の進む道を「まとも」な方向へ修正したいという一念で、真摯で賢明な選択をしたいと願わずにはおれません。

こんなことを考えながら、今年も一生懸命努力していく所存です。

皆様の暖かいご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



市議会傍聴記①

国保税10%引上げ

今年度の国民健康保険特別会計の決算見込みは70億円余となり、一般会計からの繰入金は、5千8百万円を補正して6億円余となる見込みです。

現行の税率のままであれば来年度は約7億7千万円繰入れなければならないため、税率の引上げが提案されたものです。

国保税を毎年のように引上げる背景には、増え続

ける医療費の問題があります。あきる野市でも、保険給付費は平成8年度27億円に対して平成19年度は約55億円と約10年間で倍増しています。

市議会でも、医療費をどう抑制するかが議論されましたが、即効薬も特効薬もないのが現実です。

赤字のもう一つの原因は、国の補助率の引下げです。

国保会計は、国と都の補助金、市が徴収する国保税が収

入源ですが、「自治体の財政基盤を強化する」ために行われた三位一体改革の結果、平成16年度まで40%だった国の負担率は平成18年度からは34%に引下げられました。このため国保会計はますます圧迫され、全国でも6割を超える自治体で実質的に赤字だといわれています。

国保の加入者の大半は、年金生活者、パート、失業者などです。所得の低い者により重い負担がかかります。毎年税率が引上げられるようでは制度そのものが成立しません。

政府は、自治体と加入者への負担転嫁を改め、早急に抜本的改革に着手すべきです。

市議会傍聴記②

温浴施設の条例を制定

十里木・長岳地区は、自然環境を活用して都市との交流、市民の保養と健康保持、地場産業の振興と活性化などを目的に開発と整備が進められてきました。

今回、その拠点となる温浴施設の設置条例が制定されました。

施設名を「秋川溪谷瀬音の湯」といい、指定管理者によって運営されます。

利用料金は、入浴が3時間で800円（児童400円）、研修室は1時間で和室（大）が5千円、和室（小）が3千円です。

また、宿泊料金は1泊朝食付きで標準棟が7千500円、特別棟が8千500円（休日前日はそれぞれ1千円増し）となっています。

市議会の議論では、「少し高いのではないか」「福祉サービスを考慮して料金を設定できないか」などの意見がだされましたが、共産党を除く会派の賛成多数

で可決されました。

実際の利用料金は、指定管理者がこの条例の範囲内で、採算性などを考慮し、市長の承認を受けて決定されます。

多くの市民が利用しやすい料金設定が、結果的に利用者の増大と採算の確保につながるのではないのでしょうか。



温浴施設へ至る観光吊り橋